特別支援教育の担当者実践交流サークル

第２水曜日１９：００～２０：30　参加費は無料です。

会場はサポートハウス「わにの家」　第２ハウス（武蔵小杉駅下車 徒歩１０分）です

１１月は８日（水）終了/１２月は１３日（水）です

＜１０月の報告＞

☆ 今月も新しい方がレポート持参で参加されました。

Ｔさんは初めての支援級担任とのことです。 お互いに自己紹介をした後、早速レポート内容を伺いました。

☆ 先ずは学級の様子から。次に子どもたちの特性に触れ、関わることの難しさ、どう対応してよいのかと日頃の悩みを話されました。

Ａさんは衝動的な行動が多く、走ることが多い。難病を患っている。３・４時間目頃になると不調になることもある。

Ｂさんは行動の切り替えが難しい。言語が不明瞭。オムツを使用している。トイレに誘うがなかなか行く気になってくれない。

Ｃさんは嫌な時には大声で叫ぶ。こだわりがあり、朝学級へ入るまでに時間がかかる。いろいろな場所へ行ってからでないと教室に入れない。

☆ 別な先生だと言うことを聞き、自分だとなかなか聞いてくれないと感じる。指導する上でプレッシャーになり「やらせなきゃ」という気持ちがつい出てしまう。

☆ 初めからうまくはいかない。できないことばかりに目が行ってしまうが、できることや好きなことに着目すると、指導する上でのヒントが見つかるかも。

子どもたちとの関係性を作りながら、ちょとした約束をしてそれができたら褒める（本人が理解できる方法で）。また失敗やできなかった時にはどうすれば良いのか本人の言葉で考える等、現職の教員や元教員からいろいろな体験談やアドバイスが語られました。

☆ 子どもたちの話をしながら自分の考えも話されたので、みんなも勉強になりました。これからもよろしく！

☆ Ｋさんは ZOOM 参加。お子さんの宿泊学習について。また、関西で行われた体験搭乗会についての報告がありました。このような取り組みが広がるといいですね。

※　購読ご希望の方はわになろう会　伊藤まで

月刊「みんなのねがい」１１月号（715円　送料79円）

特集　生きづらさを抱える　子ども・青年

・「生きさせろ！」生きづらい社会と、
　社会を生きる若者／岡部 茜（大谷大学）
・「自分の存在」を肯定するということ
・ゆっくり、休んでいいんだよ
・発達障害や精神的な困難を抱える若者との
　対話から学ぶ／二通 諭（札幌大谷大学）
・ヤングケアラーをめぐる状況と課題

発達のなかの煌（きら）めき
第Ⅱ部　発達的共感が創り出す実践

第８回　労働の価値とは何か－幸福感でつながる喜びを／白石正久　白石恵理子

社会をみる

第８回　困難さに気づかれない大学生たち
／杉田真衣（都立大学人文社会学部）

基礎から学ぶ　障害と医療

第２回　脳性まひ② 合併症と早期介入
／柴田実千代（小児科医）

福祉現場の今を読み解く

第２回　親の自立・子の自立
／田中智子（佛教大学）

ニュースナビ

障害のある親とその子どもが
人間らしく生きるために　／編集部

発達保障インタビュー　**バトンゾ→ン**　第３２回
若者たちのエネルギーに背中を押されて（下）
／土岐邦彦（全障研岐阜支部）

ご案内チラシ参照　2023かわさき子どもの権利の日市民企画事業　第21回フォーラム

障がいのある子どもたちの地域生活支援　～子どもの育ちに大切な支援を考える～

日時：**11月23日（木・祝）　13:30～16:30（受付13:00）**　会場：**川崎市立中央支援学校**

内容：**「語ろう！　放課後のくらし」**

Ⅰ【放課後のくらし全国の状況】 吉原正人氏

Ⅱ【パネリストからの発言】
放課後等デイサービス職員・わくわく巡回指導員
・日中一時支援職員・保護者・教員

チラシ配布が遅くなりました。締め切りを過ぎても保育の受付をいたします。